



鳴り響く黄金のサウンド

第14回「音の文化祭 ひなまつりコンサート」が、3月21日にふれあい会館で開催されました。今回は10団体が出演し、さまざまなジャンルの音楽を演奏。ラストを飾る吹奏楽合同演奏では、大江中学校吹奏楽部の鈴木真琴さん(蛍水・写真手前右)が、ジャズ曲でアルトサックスの見事なソロを披露しました。

特集

町誕生60周年 新たな一歩へ
～平成31年度 所信と主要施策～

平成31年

4

No. 698

平成から新しい元号に変わる年

「紀元2019年」、大江町は60周年を迎える年になります。人間でいえば還暦、大きな節目のお祝いの年齢でもあります。ヤマガタダイカイギユウ「ブクちゃん」、縄文時代の遺構や遺物、中世の山城、重要な文化的景観の町、高く連なる朝日の山々、雄大に流れる最上川と月布川、百川衆沢を抱えた故郷の小高い丘陵、水も空気もおいしい美しい自然と、豊かな恵みの風土は、「もの・ひと・しごと」の連鎖を生み人々の暮らしを支えてきたに違いありません。小さな村が、だんだん大きな村に変わって町ができ、そして約60年前に2つの村が合一して1つの村になり、その村が町と一緒にあって「大江町」が誕生しました。

「喜びは2倍、3倍に、悲しみは半分、3分の1に」の想いで合併を勇断断行し、新しい町に一步を踏み出した先輩諸氏への感謝と敬意を胸中に秘め、町誕生60周年の還暦を未来の大江町に繋げる大きなステップの年にしたいものです。

代の波を乗り切るのが現在の私たちの務めです。衆知と英知を結集し、

狩猟から農へ、そして工業、情報へと激しく変容した社会

の根拠力を見極めて、

100歳までの健康寿命が維持でき「創新」

できるよう、遠目と近

目の複眼の視座で明る

い町を維持していきたく

いものです。時代の取

捨選択の波を乗り越えた

「古いが新しい・も

の・ひと・しごと」と、

世界に誇れる技術立国

を目指した「新しく

新しい・もの・ひと・しごと」の融

合は、重要な文化的景観のキーワード

「復古創新」そのものです。左沢楯

山城のあった中世に暮らしを成して

きた方々の、「変化の非情さ」を克服

し次代につなげた活力は、現在と

未来に通じる「復古創新」の暮らし

の根拠力と同質であり、今、そして

これからも町民各位の大きな力にな

っていくと確信したいものです。

朝日岳のスカートに乗っかって東

西に伸び存在する本町は、奥羽の山

並みから登る太陽の光を受けて輝い

ています。朝日の山は日本海から見

大江町長

渡邊兵吾

たな一歩へ

れば「日出ずる山」であり、この自然環境は生物の生存に確かな保証を与えています。水、緑の森からの酸素、肥沃な土は農工商の基盤、将来の町民の生業を確実に支える力になると信じています。

さまざまな、すでに全てがと言っても過言ではないような分野で、いわゆる「IT化」が進化を続けていますが、密室の固い孤独な空間での「IT化」のプログラミングは、人間固有の感性や原質に関する分野では、早晚淘汰されるのではないかともしわれています。人には自然から、自然の中で、自然と共に学び取れるような資質が生物の基本的性質として張りついているからでしょう。だからこそ現代社会に、自然豊かな場所として未来永劫に「水と空気と土」の「田舎の守り人」が必要なのです。国のお墨付きの文化財を2つも戴いている本町は、その任に当たるのに何の不足もないと考えます。日本国大江町はこういう町なのだ、と声高く明るく手を挙げたい。自分に向かって、外に向かって、元気良く、老いも若きも自信を持って、やってみれば自信がついて、明日は明るくなるはずですよ。若い世代の活躍も目に見えています。他人任せでは

なく自分で創り出す「創新」の動きは、町の各種団体やイベントに止まらず、いまや中心的な実働部隊になつていて頼もしい限り、今後の大きな「火花」になるのは間違いありません。

今の情報化社会の中で、商工業全般に「時間と空間」を問わない営業形態が急激に生まれ広がりは始めています。商業圏はすでに町内の範囲を越えています。若い世代の方々の適応対応の能力には目を見張るものがあります。一方「復古」の動きも徐々に着実にマーケットで評価され、「手仕事」の出番が見えています。手触り耳触り……無機から有機への動きを注視した「立ち位置」に、若い世代も入ろうとし始めたのかもしれない。本町で創り上げてきた「全ての総合力を結集した頑丈な土俵」での縦横無尽の活躍を期待し、若い世代を町民挙げて大いに応援したいものです。

大江町誕生60周年を迎え、先人が築き上げてきた町を受け継ぎ発展させ、未来につなげていかなければなりません。この60周年を町民みんなで共に喜び、楽しみ、歩んでいくというテーマで、町民と行政が一体となつて事業を展開していきます。

3月の大江町議会第1回定例会において、渡邊町長より今年度の町政運営に関する所信と主要施策の概要が示されるとともに、今年度の町の事業の設計図となる当初予算が提示され、可決されました。

今年度は町制施行からちょうど60年目となる年であり、この節目を記念したさまざまなイベントや企画が予定されています。これまでのまちづくりの集大成、そしてさらなる未来へ向けたステップとなる今年度。その指針である渡邊町長の所信と、町の主な事業の概要を紹介します。

平成31年度 所信と主要施策

町誕生60周年 新

1 まちづくり

第9次大江町総合計画および短期行動計画が、平成31年度で最終年度となります。基本理念である「ここに暮らす喜びをみんなが実感できる町」の集大成となるよう、まちづくりのさらなる発展を目指すとともに、「大江町まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づき、人口減少対策や産業の活性化対策などを引き続き推進します。また、町民のまちづくりへの参加意識の醸成を基本とする新たな計画策定に向けた準備を進めていきます。

◎住宅団地・空き家利活用

定住人口増加対策の柱として進めている宅地造成については、下毛原住宅団地の工事に着手して年内の完成を目指すとともに、町内外への積極的な分譲PRを図り、若い世代への定住促進の施策を早期に進めます。一方で、空き家の増加が課題となつていきます。不動産事業者との連携を図り、空き家の利活用を推進していきます。利活用できない空き家などについては、解体のための補助金を新たに創設し、空き家の増加を抑制していきます。

◎地域活性化・婚活支援

集落活動への支援として、引き続き集落活性化支援交付金により地域活動を促進するとともに、各区が積極的に地域の課題を掘り起こし、その克服に向けた地域づくり計画を策定し実行できるよう、町職員による地域の魅力見つけ隊の活動と連携していきます。町民主体の地域おこし活動を支援する「未来へつなぐ元気活動支援事業」についても引き続き実施します。

婚活支援に関しては、結婚新生活支援事業やおおえ良縁結びたい事業などを継続するとともに、広域的な連携により出会いから結婚まで継続的に支援していきます。

◎公共交通・ふるさと納税

交通弱者などの交通手段として欠かすことのできない町営バスやデマンドタクシーについては、より利用者の立場に立った運行体系となるよう関係機関と協議していきます。「ふるさとまちづくり寄附金」については、魅力ある返礼品を充実し販売サイトを増やした結果、寄付額が1億円を超え、前年度の実績を上

平成31年度 町の主要事業

2 農業・林業

回る順調な伸びを示しています。引き続き、返礼品提供事業者と協力し魅力ある返礼品を取りそろえようと

もに、町特産品の販路拡大に結び付け、地域経済の活性化につながるよう推進していきます。

◎水田・果樹・やまがた地鶏

高品質・高収益の米づくりと合わせ、主食用米以外の作物による水田活用（転作）を大江町地域農業再生協議会と一体となつて取り組んでいきます。また、減農薬・減化学肥料の生産拡大に対する支援を継続し、殺虫剤の使用を抑え、昆虫などの多様な生物と共生する米づくりの実験事業に取り組みます。

本町は高品質なくだもの生産地であり、市場からの評価が高く消費者からも人気となっています。生産者とともに特産化を進めているスモモの新たな品種のPRや生産拡大、新品種「山形C12号」導入促進のためのさくらんぼ新品種導入支援事業、リンゴ品種更新支援事業を継続し、JAなどと連携しながら果樹の産地づくりによる農業所得のアップを目指します。

町の特産品としてブランド化を目指している「大江町産やまがた地

鶏」についても、町誕生60周年記念イベントをおこないながら宣伝PRを図り、販売を強化します。

◎新規就農者支援

農業従事者の減少・高齢化が進む中で、新規就農者は本町農業の活性化と農業振興に大きな役割を果たしています。先進的な活動をしている大江町就農研修生受入協議会（OSINの会）や農業関係機関と連携しながら、新規就農者の受け入れや営農支援、生活支援を継続します。併せて、林業振興策と結び付けた新規就農者住宅を整備し、これまで建設した住宅を含め、移住者用住宅などとして、より効果的な利用の促進を図ります。

また、農業委員会における検討の結果、農地取得の下限面積が4月から10アールに引き下げられることになりました。空き家活用と一体的な農用地の有効利用と新規就農を推進していきます。

まちづくり



下モ原住宅団地造成予定地

新住宅団地を造成 2億1,410万円

新たな住宅団地として、下モ原地区に隣接する土地に若い世代が購入しやすい低価格で質の高い住宅団地19区画を造成します。

<主な事業>

事業名	事業費
ふるさとまちづくり寄附促進事業	1億6,697万円
地域公共交通運行事業	2,448万円
集落活性化支援交付金	1,000万円

60周年



町制施行60周年

町誕生60周年記念事業 2,960万円

大江町は本年8月に誕生60年を迎えます。この節目を町民の皆さんと共に喜び、楽しみ、そして今後歩んでいくため、さまざまな記念事業をおこないます。

<主な事業>

事業名	事業費
町史記念誌発行事業	382万円
ふれあい芸術コンサート	280万円
若者地域づくり推進事業	100万円

◎有害鳥獣被害対策

大江町鳥獣被害防止対策協議会や鳥獣被害対策実施隊の活動を支援するとともに、被害防止に向けた地域ぐるみの取り組みを推進します。また、県や寒河江西村山管内の市町、町猟友会などと広域的に連携しながら、特に近年増加が著しいイノシシによる被害防止に取り組んでいきます。

◎林業・地籍調査

高品質な町産西山杉の生産・販売の拡大と森林資源の利活用による林業および関連産業の振興のため、大江町美しい森林づくり協議会、県、西川町、朝日町および林業関係組織などで構成する西山杉利活用推進コンソーシアムと連携して取り組んで

いきます。

また、森林所有者の森林経営管理責務を明確化し、所有者が管理できない森林の管理を市町村に委ねられることなどを内容とする森林経営管理法が、4月から施行されます。この新しい仕組みのもと、森林経営に関する森林所有者への意向調査や森林資源量の調査などを実施していきます。

地籍調査については、平成30年度で現地調査が終了しましたが、平成29年度現地調査分の認証並びに平成30年度分の地積測定および地籍図や地籍簿の作成などの工程が残っており、必要な補助を得ながら整理を進めていきます。

3 商工労働・観光

◎雇用・産業活性化

商業に関しては、起業や新商品開発のほか、若者に対する起業支援も引き続きおこなっていきます。商工会を中心とした特産品づくりとおおえブランドを推進する取り組みなどを継続して支援します。また、本年10月実施予定の消費税増税に対する国の経済対策として、低所得者や子

◎観光

育て世帯向けのプレミアム付商品券事業を実施します。さらに、物産販売のイベントに磨きをかけ、町内の商工業の振興を図ります。

本町では90年以上の歴史を誇る「水郷大江夏まつり灯ろう流し花火大会」など、年間を通じて数多くのイベントを開催しています。魅力

農業・林業



新規就農者住宅(十八才)

新規就農者を支援 4,048万円

町産西山杉を活用した、移住者を含めた新規就農者用住宅1棟を七軒地区に建設するほか、共同農機具整備や家賃を補助し、新規就農者の営農を支援します。



三の堤ため池(小見)

災害に強い農業基盤施設 3,177万円

農業者が安全・安心に農業を営むため、ため池などの農業基盤施設の耐震化を実施し、防災・減災対策の強化を図ります。

<主な事業>

事業名	事業費	事業名	事業費
森林経営管理事業	624万円	農業次世代人材投資事業	2,340万円
柳川温泉施設整備事業	450万円	やまがた地鶏振興事業(地鶏肉フェスほか)	690万円
自然共生型米づくり実験事業	71万円	農機具等整備補助事業	440万円

4 道路・住宅・水道

◎道路整備・住宅

本町の道路交通網の要である主要地方道大江西川線については、貫見く沢口間に計画されている6つの橋梁のうち、2橋が完成し供用が開始されました。平成31年度は4号橋（巻淵橋）、6号橋（阿ヨシ橋）の工事と5号橋（杉な橋）の設計業務が予定されています。また、月布橋については、幅員と耐震性を確保するため架け替えがおこなわれることとなり、平成31年度は設計と用地調査が予定されています。貫見く沢口間の早期完成とともに、田ノ沢く大

度アップにより誘客の拡大を図り、「ひと」と「もの」の交流を促進します。
 文化的景観のまち歩きや農業体験、山里交流館での自然体験、健康温泉館そして柳川温泉での保養など、本町にある「ホンモノ」の観光資源の有効活用により着地型観光を推進していきます。
 日本百名山に数えられる朝日連峰登山の人気は高く、登山シーズンには、多くの方々が古寺登山口によつ

てきます。大江町・朝日町・西川町により昨年組織化された「朝日連峰振興連絡会」と連携して朝日連峰の魅力在全国に発信するとともに、朝日登山や町内観光の案内所として「朝日連峰古寺案内センター」を整備し、万が一の際の遭難救助の前線基地、自然学習の場、宿泊所、観光案内所としての役割を担う施設として、秋のプレオープン、そして来年春の本格オープンを目指して取り組んでいきます。

井沢トンネル間の早期着手に向け、国および県に対し更なる要望をおこなっていきます。
 今後のまちづくりの重要な路線である町道藤田堂屋敷線についても、早期完成を目指して整備を進めていきます。
 町民の暮らしにおける安全・安心を確保するためには、橋梁をはじめとする道路構造物の老朽化対策が重要ですが、それに伴う維持管理コストの増大が課題となっています。計画的に対策を実施し橋梁の寿命を延ばすことがコスト縮減につながる

道路・住宅など



町営西原住宅D棟

町営住宅を建設 1億780万円

住宅施策として、藤田工業団地近くに新たな町営住宅（2棟6戸）を整備し、若い世代の定住促進と高齢者などの居住の安定を図ります。

<主な事業>

事業名	事業費
道路新設改良事業	1億8,730万円
橋梁維持補修事業	7,240万円
住宅関連補助事業(リフォームほか)	693万円

商工労働・観光



朝日連峰紅葉登山

朝日連峰古寺案内センター整備 5,502万円

平成29年度より事業を進めてきた朝日連峰の観光拠点施設となる古寺案内センターが、いよいよこの秋に完成します。

<主な事業>

事業名	事業費
プレミアム付商品券事業	1,320万円
若者起業支援事業	500万円
商売繁盛創出支援事業	150万円

ため、定期点検の結果に基づいて橋梁長寿命化修繕計画を見直し、適正な維持管理に努めます。今年度は小針地内「小牧橋」の橋梁塗装工事、沢口地内「中の橋」および「大瀬川橋」の床版防水工事を実施する予定です。

公営住宅については、若い世代の定住促進と高齢者などの居住の安定を図るため、藤田地内に2棟6戸の新たな公営住宅を建設します。

◎生活排水処理・水道事業

平成30年度末の公共ますへの接続率は、公共下水道事業が72・3パーセント、農業集落排水事業においては81・7パーセントとなる見込みであり、今後も接続率の向上と適切な

維持管理に努めます。平成31年度は、大江中学校の下水道接続に向けて公共下水道管渠布設工事を実施します。自治体が水道事業の運営権を民間企業に委託することを促進したり、広域連携したりすることを柱とする水道法の改正がおこなわれました。民間委託などについてはさまざまな問題を見極める必要があります。今後も経営の健全化と安全・安心な水道水の供給、災害時の早急な対応に努めていきます。平成31年度は、小針地内の老朽管布設替工事、町道十八才旧道線および小漆川巨海院線道路改良工事に伴う配水管の布設替工事、楯山配水池の流量計更新工事を実施します。

障害者福祉については、これまでの支援に加え、特別な支援が必要な重度心身障害児のための通所事業所の整備を支援します。

介護保険事業については、これまで以上の給付費の増加が予想されるため、今後も介護保険事業計画に基づいた各種サービスの提供と健全な事業運営に努めます。また、運動教

◎高齢者福祉・障害者福祉・介護
ますます進展する高齢化社会において、高齢者が住み慣れた地域で安心して生活を送れるように地域全体で高齢者を支えあう「地域包括ケアシステム」の確立のため、高齢者を支えるシステムを社会福祉協議会など関係機関・団体と連携し構築していきます。

5 福祉・子育て・健康・医療

福祉・子育て・医療



子ども医療証

高校生まで医療費無償化 3,567万円

これまで中学生までを対象としていた医療費無償化について、高校生まで拡充し子育て世帯を応援します。



高齢者配食サービス

高齢者の暮らしを支援 1,151万円

高齢者が安心して暮らせるよう、配食サービスや雪下ろし支援、通院費支援など、在宅福祉支援の充実を図ります。

<主な事業>

事業名	事業費	事業名	事業費
放課後児童健全育成事業	1,951万円	障害者福祉事業	2億149万円
さわやか健康づくり推進事業	959万円	保健事業（予防接種・健診ほか）	5,244万円
子育て支援事業	804万円	地域医療対策事業	206万円

室などの一般介護予防事業を継続しながら、認知症対策を重点課題として地域包括支援センターの各種支援事業をおこないます。

◎子育て支援

子育て環境のさまざまな課題に対応するため、第2期目の子ども・子育て支援事業計画を策定し、にじいる保育園、子育て支援センター「ぱれっと」の活動と併せ、将来を担う子どもたちがいきいきと輝けるような保育事業を展開します。

また、低年齢児保育、延長保育、一時預かりといった多様な保育ニーズに対しては、民間事業者と連携しながら対応し、さらに子育て世帯の経済的な負担軽減を図るために、10月からは「保育料無償化」を実施します。

◎健康づくり

喫緊の大きな課題である地域医療の充実に向けて、引き続き医療確保対策委員会で検討をおこない町としての方向性を示すとともに、高齢者等通院支援給付費の対象者を拡充し継続します。また、平成30年度策定の自殺対策計画に基づき、ゲートキーパー（命の門番）養成講習会など、命の大切さを知る機会を設けていきます。

母子保健については、これまでの健康診査に加えて、子育て世代包括支援センターを拠点に、妊娠期から子育て期に至るまでの総合的な相談支援をおこないます。

各種健康診査では、町民の負担軽減、受診しやすい環境づくりのため健診時間の短縮に努めます。また、厚生労働省が死亡率を下げる効果があるとして推奨する胃がん、肺がんなどの5種類のがん検診に重点を置きながら、健康相談、生活習慣病予防教室などによる健康教育をおこないます。

◎医療

子育て支援医療においては、「中学3年生までの医療費の無料化」を「高校3年生の18歳まで」に拡大します。

国民健康保険は、平成30年度から県が財政運営の責任主体としての役割を担い、市町村は資格管理、保険給付、保健事業のほか、保険税率の決定や賦課・徴収を引き続き担っています。本町においては、原資となる国民健康保険税の収納確保に努めるとともに、被保険者資格適用の適正化、健康増進・生活習慣病予防などに関する啓発や各種保健事業をおこなっていきます。

教育振興



ふれあい会館でのイベント（健康づくり教室）

ふれあい会館空調設備を改修
7,650万円

老朽化が進んでいるふれあい会館の冷暖房空調設備を全面改修し、快適なホール環境にリニューアルします。



中学生海外派遣事前研修（平成28年度）

中学生英語教育の充実
300万円

中学生の英語学習の新たな取り組みとして、2年生全員を東京の語学研修施設に派遣し、英語学習力の強化と国際理解を深めます。

<主な事業>

事業名	事業費	事業名	事業費
左沢楯山城跡保存整備事業	5,746 万円	小中学校給食費支援事業	1,417 万円
文化的景観保護推進事業	2,953 万円	自治公民館整備事業	802 万円
図書館運営事業	980 万円	左沢高等学校支援事業	150 万円

6 教育振興

「共に学び合い 高め合い 生かし 合う 心豊かな人づくり」を基本理念とした第2次大江町教育振興計画が、計画期間の最終年度を迎えます。これまでの総仕上げの年と位置付けて教育の振興を図り、新たな第3次大江町教育振興計画の策定に向けて取り組みを進めます。

◎学校教育

平成26年度から3年間おこなってきた中学生海外派遣事業を進化させた東京に新たにオープンした体験型英語学習施設「東京グローバルゲートウェイ」へ中学2年生全員を派遣し、2日間丸ごと英語に浸る学習を実施します。

学習環境の整備として、授業におけるICT機器のさらなる活用などを見据え、小中学校にタブレット型パソコンを追加導入します。また中学校において、3年生を対象に放課後を利用して基本的学習の充実や発展的な課題に取り組む活動を「地域未来塾」として開催します。

学校給食については、中学校の完全給食実施に伴って取り組んだ米づくり体験をさらに充実させるため、

今年度は左沢高校の協力を得て、中学生・高校生・農協青年部が連携協力して稲作体験に取り組みます。小学校の給食においては、米飯への異物混入問題に対応するため、また子どもたちに温かいご飯を提供するため、自校炊飯方式に転換を図ります。本町唯一の高等学校であり、昨年度創立70周年を迎えた左沢高校については、魅力ある学校づくりの一助となるよう、JRを利用して通学する生徒の支援、資格取得に対する支援を継続し、多くの中学生や保護者の要望に応えられるよう環境づくりを支援していきます。

◎社会教育

新中央公民館のオープンとともに、おおい町民大学「ぶくらすカレッジ」として展開してきた生涯学習事業を、内容にさらに磨きをかけて実施していきます。また、町立図書館の充実と利用促進を図り、プクちゃんオリジナル絵本を作成して幼児のブックスタートに役立てるとともに、60周年記念事業の一環として町内外への配布も実施します。

学校外での青少年教育に関しては、

危機管理



大江町洪水ハザードマップ（平成28年3月作成）

ハザードマップ更新 92万円

ハザードマップを最新の情報に見直し全戸に配布することで、災害に対する備えと防災意識の向上を図ります。

<主な事業>

事業名	事業費
消防施設整備事業	1,454 万円
交通安全対策事業	586 万円
防災備蓄倉庫整備事業	270 万円

教育振興



授業に活用できるタブレットPC

小・中学校にタブレットPCなど 820万円

小・中学校にタブレット型パソコンを配備しプログラミング学習を推進するとともに、情報教育環境の充実を図ります。

<主な事業>

事業名	事業費
幼稚園関係助成事業	1,653 万円
小学校施設整備事業	901 万円
生涯スポーツ振興事業	223 万円

7 危機管理

7月の西日本を中心とした集中豪雨、9月6日未明に発生し最大震度7の揺れを記録した北海道胆振東部地震など、昨年も全国各地で大規模な災害が起こりました。県内では8月に最上地方を中心に豪雨が2度直撃し、大きな被害をもたらしました。こうした状況を踏まえ、関係団体と連携を図りながら引き続き防災・減災対策を推進します。

運用を開始し3年目を迎える防災

行政無線については、今後とも万が一の際の緊急情報伝達に備えながら、火災予防、交通安全の啓発などにも有効に活用してまいります。また、身近に起こるであろう災害を一人ひとりが理解し、災害時の初期行動が円滑におこなわれるよう現在のハザードマップを改訂し全戸配布します。

消防施設整備としては、老朽化が進んだ貫見地内のポンプ車庫の建て替えをおこないます。

放課後子ども教室のリニューアルのほか、ボランティアサークル夢憶布ボケドットの活動のさらなる充実を図ります。また、東北芸術工科大学との連携による芸術創作活動などの体験企画を実施します。

◎歴史文化・体育振興

芸術文化活動については、60周年記念事業として町民みんなが楽しめる「ふれあい芸術コンサート」の開催など芸術文化に触れる機会を創出していきます。

国選定重要文化的景観に関しては、10月に全国文化的景観地区連絡協議会総会および全国大会が本町を会場

に開催されます。全国の優れた景観団体が集うことで、町民の皆さんにも本町の景観の素晴らしさを再認識していただく絶好の機会になると期待されます。

左沢楯山城跡については、史跡としての価値の保存を前提に整備をおこなうこととし、今年度は八幡座の遺構表示や広場の整備を実施します。体育振興については、町誕生60周年の記念として体育協会主催事業の充実を図り、中でも舟唄健康マラソン大会はより多くの皆さんが参加できる企画とし、人と地域の結び付きを深める大会として開催します。



舟唄健康マラソン大会



水郷大江夏まつり

祝60周年 イベントもグレードアップ!



クラシックカー&古い街並



物産味覚まつり

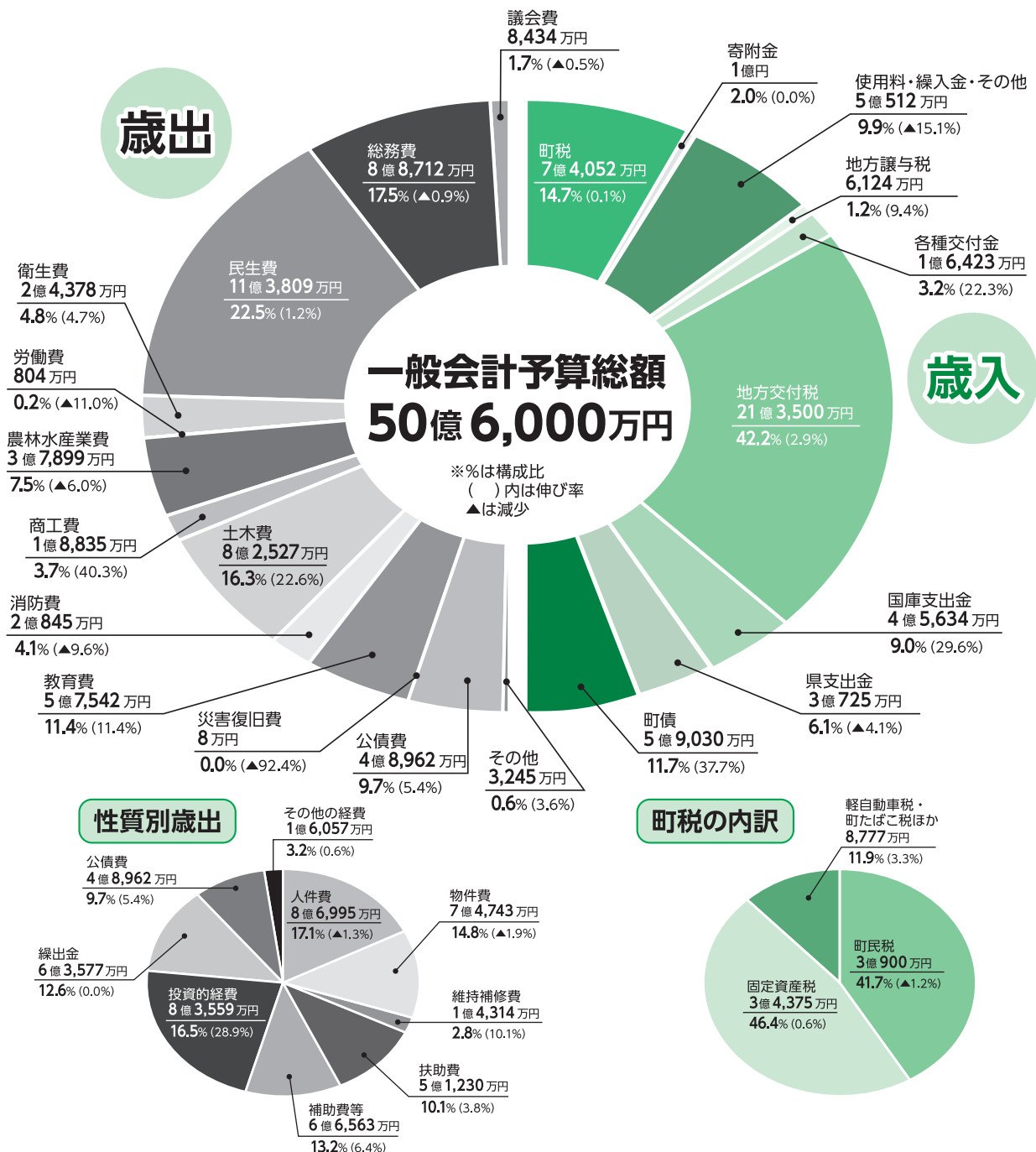
平成31年度 一般会計当初予算

50億6,000万円

平成31年度当初予算が、3月の町議会定例会で可決されました。一般会計の総額は50億6,000万円で、前年度当初予算額と比較すると5.4%の増となりました。

歳出面での特徴は、町営住宅建設事業や左沢楯山城跡保存整備事業などの大型事業を実施することから前年度に比べ投資的経費が大きく増加。また、子育て支援医療（医療費無償化）の高校生までの拡充や中学生国際理解教育研修の実施などもあり補助費等は増加となっています。

歳入面では、投資的経費などに係る国庫支出金や幼児教育無償化に伴う地方特例交付金が大幅に増加しています。特別会計を含む各会計の予算概要を紹介します。（予算は千円単位ですが、四捨五入により万円単位としています）



議会

town council

3月定例会

平成31年第1回大江町議会定例会
が、3月5日から14日の会期で開か
れました。今定例会では、平成31年
度当初予算や平成30年度の各会計の
補正予算のほか、条例制定・改正案、
指定管理者の指定などについて審議
がおこなわれ、原案どおり承認・可
決されました。そのうち、主な内容
の一部を紹介します。

行政報告

大江町いじめ防止基本方針について

このたび町教育委員会では、「い
じめ防止対策推進法」に示された努
力義務に基づき、「大江町いじめ防
止基本方針」を策定しました。この
方針は、SNSを介したいじめなど
多様化・複雑化している現代のいじ



めに対応し、各学校との連携をさら
に深め、いじめ問題の予防・根絶に
向けて取り組んでいくために定めた
ものです。

本方針では、町、学校および教職
員、保護者の責務や町民の役割を示
すとともに、いじめを防止する対策
を実効的におこなうための組織の設

置や運営、重大事態への対応に関す
る具体策について定めています。

現在、各小中学校では教育委員会
の指示により策定された「学校いじ
め防止基本方針」に基づいて、いじ
めをなくすための取り組みがなされ
ており、今後も保護者や町民の皆さ
んのご意見を頂きながら、児童生徒
が安心して楽しく学べる学校づくり
に取り組んでいきます。

大江町における運動部活動の在り方 に関する指針

町教育委員会では「山形県におけ
る運動部活動の在り方に関する指
針」に則り、「大江町における運動
部活動の在り方に関する指針」を策
定しました。

この指針では、「持続可能な運動
部活動」の観点から、適切な指導や
活動時間、スポーツ環境の整備、部
活動指導員との連携などについて示
しており、行き過ぎたスポーツ活動
によるスポーツ外傷・障害などのリ
スクから生徒を守るために、具体的
な練習日数や回数を示し、大江中学
校に対し運動部活動を適切に運営し
ていくことを求めています。

平成31年度より、大江中学校の運
動部活動を「持続可能」なものとし

るために、抜本的な改革に取り組ん
でいきます。

条例制定

大江町農地耕作条件改善事業分担
金徴収条例が制定されました。この
条例は、農地耕作条件改善事業にお
いて、対象外である法人格を持たな
い生産組合などの要請により町が実
施主体となつて事業を実施した場合
に、受益者から分担金を負担してい
ただく仕組みを定めたものです。

指定管理

大江町小倉交流館の指定管理者
を小倉交流館管理運営協議会（会
長・鈴木正清）、美郷地区コミュニ
ティーセンターの指定管理者を美郷
区（区長・佐竹富士夫）、大江町山里
交流館の指定管理者を特定非営利活
動法人さわらび会（代表理事・今野
壽子）に指定することが可決されま
した。

補正予算

平成30年度一般会計予算につい
て、歳入歳出予算の総額にそれぞれ
1億3400万円を追加し、補正後
の予算総額は5億6640万円とな
りました。



金子家



清野家



岡田家

3/29 ~31 みやびな舟運文化をしのぶ

3月恒例の「大江のひなまつり」が、3月29日から31日にかけて開催されました。最上川舟運によってもたらされ、大切に保存されてきたひな人形が、金子家、清野家、岡田家で披露されたほか、歴史民俗資料館では町に寄贈された数多くのひな人形が展示され、お食事として花ずしなども提供。お休み処錦庵、左沢中央通り商店街の各商店でも自慢のおひなさまが飾られました。

期間中の週末は悪天候にもかかわらず多くの方が各会場に足を運び、それぞれの家の個性豊かなひな人形に見入っていました。



2/22 人生を彩る芸能の楽しさ

町老人クラブ連合会が主催する大江町老人芸能大会が、2月22日にふれあい会館で開催されました。この芸能大会は、老人クラブ会員の皆さんが長年仕事の合間に親しんできた各種芸能などを披露するもので、町立保育園の園児も出演して交流を深める機会にもなっており、毎年好評を得ています。

この日は、22の団体や個人が出演し、大正琴や舞踊、歌謡曲など、バラエティに富んだ演目を披露。会場に詰め掛けた老人クラブ会員や一般の来場者を大いに賑わせていました。



3/3 世界へのとびらをたく

おおえ国際交流協会による海外研修発表会が、3月3日に中央公民館でおこなわれました。この発表会は、同協会の海外研修補助事業を利用した方の体験を広く知っていただこうと開かれたもので、後藤瑞貴さん（藤田）、堀場涼さん（みなみ出身）の2人が、それぞれオーストラリアとアメリカ合衆国での交流の模様などを語りました。

発表会の後は、ALTのデニス先生による英会話教室「カフェ・デニス」の体験教室がおこなわれ、参加者はゲームなどを通じて英語でのコミュニケーションを楽しんでいました。

3/12 懐かしい歌で楽しい時間を

町社会福祉協議会が主催する「みんなの茶の間」事業が、2月中旬から町内の多くの地区で実施されています。この活動は、高齢者の居場所づくりの一環としておこなわれているもので、地域の高齢者が公民館などに気軽に集まり、一緒に歌を歌ったり体操をしたりと自由な時間を過ごして交流を深め、地域の連帯感を生み出すことを目指しています。

2月26日、本郷西部地区を対象とした「みんなの茶の間」が小倉交流館で開かれ、懐メロを歌う「歌声喫茶」や健康体操で参加者が楽しく交流。同会場では3月26日にも実施されました。

3月12日には左沢の一部地域の皆さんを対象に、ふれあい会館と交流ステーションを会場として合同開催されました。また、市の沢、上北山、檀山、貫見、黒森でも地区の公民館などを会場としておこなわれています。参加した皆さんにアンケートをおこなった結果、多数の方が毎月参加したいと回答しており、多くの地区で4月以降も月1回実施する予定となっています。

このほか、区単独で健康体操などを実施している地区もあり、今後も町内で高齢者サロン活動が広がることが期待されます。



1～4区 (交流ステーション)



5～8区・10区・11区 (ふれあい会館)



左沢小学校卒業式

3/18 春の日差しの向こうへ

今年も卒業シーズンを迎え、町内では3月16日に大江中学校、3月18日に左沢小学校と本郷東小学校で卒業証書授与式がおこなわれました。

このうち左沢小学校では、男女合わせて38名が卒業の日を迎え、日塔宜邦校長から一人ひとりに卒業証書が手渡されました。卒業生は6年間の学校生活を振り返る別れの言葉と、涙ながらの最後の合唱を披露。春の暖かな日差しが差し込む中、在校生のつくる花のアーチに見送られて会場を後にし、4月から始まる新しい日々に向かって力強く歩いていきました。



3/23 大自然と音楽の中で

山里交流館「やまさあーべ」を会場とした初めてのマルシェ「やまさあーべの春マルシェ」が、3月23日に開かれました。会場には水棲昆虫などの生き物展示や、ヤギや七面鳥、カエルなどのふれあいコーナーのほか、アクセサリー、農産物、軽食などさまざまなブースが出店。また、午後からはブルースショー、夕方からはアフターパーティーなど多彩な催しもおこなわれました。

この日は冷たい風とともに雪が舞う荒れ模様の天気でしたが、町内外から多くの方が訪れ、柳川地区ならではのマルシェを楽しんでいました。

お知らせ

Information

大江町消防団春季演習

- ◆日時／4月21日(日)13時～
- ◆場所／左沢小学校グラウンドおよび左沢内町・横町通り
- ◆内容／消防操法、一斉放水、分列行進など

※当日は、左沢地区の交通規制があります。ご協力をお願いします。また、春季火災予防運動に伴い、4月16日(火)から22日(月)にかけて、7時および20時に防災行政無線によるサイレン吹鳴がおこなわれます。

☎総務課危機管理係 ☎(62)2187
 または、消防署大江分署 ☎(62)3120

町の健診が始まります！

今年度の町の健康診査が6月20日(木)から始まります。問診票などを順次申込者へ郵送しますので、重大な病気を予防するためにも、ぜひ健診を受けてください。受診の際には、次の点にご注意ください。

◆昨年度までの「1日人間ドック」と「ミニドック」が一緒になり、今年度から健診方式が「人間ドック」に一本化されました。ご希望の検査を選んで受診でき、早い方では30分、遅くとも3時間以内に終了するなど時間が短縮されます。

◆健康診査家族調査票兼申込書で「1日人間ドック」「ミニドック」「レディース健診」を複数申込された方は「人間ドック」の問診票などをお送りします(「人間ドック」に「レディース健診」の検診内容が全て含まれているため)。

◆受診日の変更、新規申込はいつでも受け付けています。健康福祉課へご連絡のうえ、ご都合の良い日に受診してください。ただし、1回の受診者数に上限があるため、別の日に変更していただく場合があります。

◆4月より山形県成人病検査センターの名称が「総合健診センター」に変更されました。

☎総合健診センター ☎(84)0800

◆主ながん検診の推奨される受診間隔は、胃がん検診・乳がん検診・子宮頸がん検診は2年に1回、肺がん検診・大腸がん検診は年1回となっています。

※町では2年に1回という制限を設

山形県縦断駅伝競走大会開催!



4月27日(土)から29日(月)にかけて、今年も県縦断駅伝競走大会が開催され、28日(日)には本町を通過します。寒河江西村山チームが出場しますので、力走する選手へ大きな声援をお願いします!

- ◆大江中継所／ふれあい会館脇 町民駐車場前
- ◆通過予定日時／4月28日(日) 12時6分ごろ

けておらず、毎年受けることも可能としています。

☎健康福祉課保健衛生係

☎(62)2114

「無期転換ルール」の円滑な運用について

「無期転換ルール」とは、同じ会社で有期労働契約が更新されて通算5年を超えたときは、労働者の申込によつて期間の定めのない労働契約(無期労働契約)に転換できるルールのことです。

無期転換を避けることを目的として、無期申込権が発生する5年を経過する直前に、使用者が一方的に契約の更新上限を就業規則に設け、雇

止めをおこなうなどのことは、法の趣旨に反し望ましくありません。詳しくは「有期契約労働者の無期転換ポータルサイト」をご覧ください。左記までお問合せください。

☎山形労働局雇用環境・均等室

☎023(624)8228

夢を応援基金

「ひとり親家庭支援奨学金制度」

ひとり親家庭の生徒の夢を応援するための、奨学金制度の利用者の募集をおこないます。

◆対象者／中学3年生、高等学校・高等専門学校1～3年に在籍する生徒(全国400名)

◆応募資格／ひとり親世帯で就学に



大型連休中の公共サービスについて



5月1日(水)の天皇即位に伴う祝日の取り扱いにより、4月27日(土)から5月6日(月)にかけての期間、官公庁は原則閉庁となります。この間、町民の皆さんの生活に影響する窓口業務や公共サービスについて、次のとおり取り扱うこととしましたのでお知らせします。

【戸籍・住民票などの交付窓口】

- ◆窓口開設日 / 4月30日(火)
- ◆開設時間 / 9時～16時
- ◆対象業務 / ◎戸籍・除籍・改製原戸籍謄抄本の交付
◎住民票謄抄本・住民票除票の交付
◎印鑑登録および印鑑登録証明書の交付

※当日は、役場西口玄関よりお入りください。

【家庭系ごみの取り扱い】

- ◆クリーンセンターへの直接搬入受付日

4月28日(日)および5月2日(木)

- ◆もやせるごみの収集

下記の日は祝日ですが、収集日となります。

◎火・金曜日が収集日の地区の方…4月30日(火)

◎月・木曜日が収集日の地区の方…5月2日(木)

【町営バス・デマンドタクシー】

通常運行します。時刻などの詳細については、大江町公共交通機関時刻表をご覧ください。

【児童福祉施設の開所日】

施設名	開所日
保育所 (にじいろ保育園・あゆみこども園)	4月27日(土)
一時保育 (あゆみこども園)	4月27日(土)
子育て支援センター「ぱれっと」	4月27日(土)・28日(日)、30日(火)、5月1日(水)～5日(日)
放課後児童クラブ (学童O-KIDSクラブ、キラリッ子クラブ)	4月27日(土)

※ファミリー・サポート・センターを利用するには、会員としての入会手続きと協力会員との事前打ち合わせが必要です(人数に限りがあります)。利用を希望する日の7日前までに子育て支援センターぱれっと ☎(85)0433へご連絡ください。

☎大江町役場代表 ☎(62)2111 (夜間) 消防署大江分署 ☎(62)3120 (17時～翌日8時半)

関して経済的に困難な生徒、夢を実現するための意欲があり、社会貢献への積極的な姿勢のある品行方正な生徒など

- ◆支給額 / 月額3万円 ※返還不要

- ◆支給時期 / 前期分(4～9月分)

は8月末、後期分(10月～翌年3月分)は平成32年2月末に支給予定

- ◆応募方法 / 申請書などの様式を全国母子寡婦福祉団体協議会(全母子協)ホームページまたは全母子協加盟団体から取得のうえ提出

- ◆募集締切 / 4月26日(金)必着

※応募の要件などの詳細については、お問い合わせください。

- ☎(一財)山形県母子寡婦福祉連合会事務局 ☎023(633)0962

危険物取扱者・消防設備士の免状をお持ちの方へ

危険物取扱者・消防設備士の義務として、消防法令では、免状公布の日から10年以内ごとに写真の書き換えをしなければならぬ規定となっています。

免状の写真下欄記載の期限を確認のうえ、速やかに手続きをされるようお知らせします。

- ☎(一財)消防試験研究センター山形県支部 ☎023(631)0761



お知らせ版では来月以降の日付も「平成」と表記します。でもせっかくだから、あえてフライングして……令和元年5月号でまたお会いしましょう。(伊藤智治)

平成最後の「広報おおえ」です。年度初めの号ということもあって、編集にはあまり意識していなかったのですが、完成形が見えてくるにつれて少しずつ感慨も湧いてきました。平成最初の年、平成元年は大江町誕生30周年の年であり、これを記念して町民歌が生まれた年でもあります。そこからまた30年という月日が流れ、今年60年目を迎えた町は、これまでの歴史の半分を平成という時代の中で歩んできたということになります。

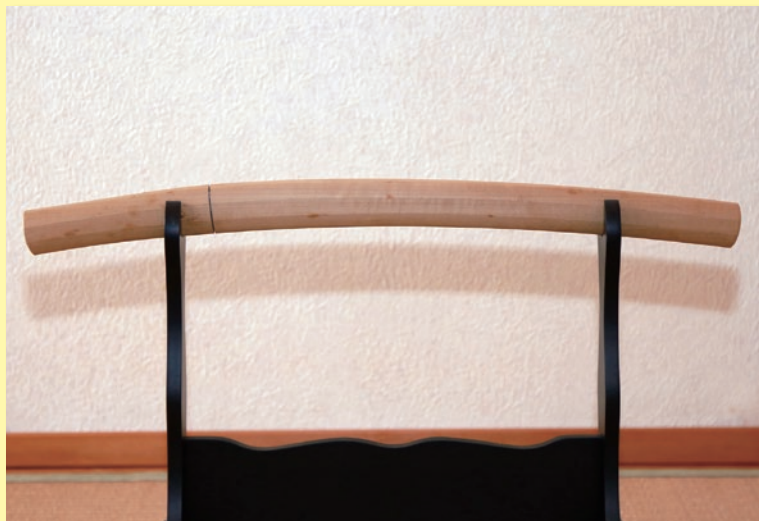
そして4月1日、平成の次の元号が「令和」になることが発表されました。来月から始まる「令和」の時代がどのようなものになるのか、まだ想像もつきませんが、これまで「平成」の2文字と密着していた日常がずいぶん違ってくることは間違いなさそうです。

国にとっても町にとってもメモリアルイヤーとなるこの年、私も引き続き町の広報を担当することになりました。また1年間、何かと皆さんにご協力いただき機会があるかと思っております。どうぞよろしく願います。なお、改元は5月1日なので、今月の広報誌とお知らせ版では来月以降の日付も「平成」と表記します。

思い出の まいぞうひん My蔵品

No.42

皆さんの心に残る思い出の品を、それにまつわるエピソードとともにご紹介します。



▲大谷さんの旧宅解体時に発見され、以来一家の「守り神」となった脇差



▲発見された際の柄、さや、つばなど ▲刃を研ぎ直し、白木のさやと、銃砲刀剣類登録証に入れて保管しています

昭和47年、自宅の新築のために旧宅の解体作業をしている時、神棚の後ろから一振りりの刀が落ちてきました。刀身がさび付いた古い脇差で、それまでは家にあるなどということは誰も知りませんでした。いつごろ作られたのか、どういう経緯で家に置いてあったのか、詳しいことは分かりません。私の家は、分家して私で4代目になるのですが、おそらく分家した際に本家から譲り受けたものではないかと思えます。発見してからすぐに届け出て、登録のため手続きをおこないました。

その後、娘の嫁ぎ先のとついで研ぎ師の方に刀を研いでいただき、保存のためこしらえを白木にさせていただきました。神棚から出てきたということで、現在も家の「守り神」として、神棚の裏に大切に保存しています。

(13区 大谷茂家)

★皆さんの思い出の詰まった「宝物」はありませんか？
懐かしい写真、長年愛用している道具、旅先で購入した記念の品など、なんでも結構です。
総務課情報システム係☎(62)2187まで、ぜひお知らせください。

戸籍のまど

2月21日～3月20日受付分

お誕生おめでとう

区名	氏名	性別	父母名
9区	安彦 紗来	女	啓・綾
月布	阿部 大樹	男	達也・香菜子
藤田	富樫 慎ノ介	男	俊介・真利絵

ご冥福を祈ります

区名	氏名	年齢
藤田	鈴木かよ子	(93)
月布	荒木 邦治	(56)
若原	三吉 鐵雄	(84)
若原	佐藤 俊一	(68)
月が丘	鈴木 一雄	(98)
藤田	鈴木 友義	(87)
9区	安藤 政二	(87)
小見	伊藤みよし	(98)
塩野平	渡邊 俊夫	(91)
月が丘	鈴木 かね	(104)
9区	渡邊 恵子	(82)
3区	兼子 貞子	(96)
9区	渋谷廣太郎	(73)
若原	清野 公則	(61)



人口と世帯(前月比)

町の人口	8,172人(-45)
男	4,085人(-26)
女	4,087人(-19)
世帯数	2,913戸(-11)

平成31年4月1日現在

※掲載を希望しない場合は、届け出の際にお申し出ください。